

第4回 出雲市環境審議会 会議概要

1. 開催日時 平成27年1月16日(金) 14:00~16:10

2. 開催場所 出雲市役所 3階 庁議室

3. 会議の出席者

(1) 委員(18名)

(2) 事務局(12名)

4. 審議

【事務局】各資料を一括して説明した。

(1) し尿処理の維持管理費に占める手数料収入の割合

(2) 各ごみ処理施設における維持管理費とごみ処理手数料の収入状況

(3) 一般廃棄物処理手数料改定の参考額

(4) 出雲市環境審議会 答申書骨子(素案)

5. 主な意見

(1) し尿処理における費用負担について

し尿の搬入量が減少していく傾向にある中、手数料収入が施設の維持管理費に占める割合も減りつつある。また、昭和61年から現在まで、一度も手数料改定をしていない中で、下水道処理との負担均衡を図るということからも、受益者負担を見直すことが妥当ではないかとする意見があった。また、値上げするのはやむを得ないが、その値上げ幅について具体的な金額を議論するのではなく、一定の基準を示すのにとどめるべきとする意見も出された。

(2) ごみの適正処理について

ごみの減量化については、生ごみの減量化や堆肥化、雑紙やわりばし、食品トレイなどのリサイクル推進やリサイクルの拠点回収場所の拡充を求める意見などが出された。

意識啓発については、住民説明会や企業への協力要請、効果的な市民啓発の方法や意識改革の重要性などについて意見が出された。事業系ごみの排出量については、事業活動の増加に伴い、増える傾向にもあり、その意識改革をすべきとする意見も出された。

また、ごみ処理手数料の値上げは必要だとする意見の他に、ごみの排出量について、家庭系ごみはほぼ横ばい、事業系ごみの増加が大きい状況の中で、市民の理解を得られるようにすべきだとの意見が出された。

一方で、公用収集の回数を減らし、排出削減とコスト削減を図ってはどうかという意見も出されたが、これは、混乱を招き不法投棄につながる恐れもあり、ごみの減量化が図られてから検討すべきだという意見が出された。